

お困りのときは

修理を依頼される前に 次の点をもう一度確認してください。

こんなときは	ここを確認してください	直しかた
風が出ない または、 電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●ブレーカーが切れていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。 ●ブレーカーを入れます。
加湿しない	<ul style="list-style-type: none"> ●水タンクに水が入っていますか。 ●「空清」、「花粉」の運転モードになっていませんか。 ●加湿フィルターが汚れていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水タンクに水を入れてください。→(P.14) ●運転モードを「加湿空清」、「肌保湿」にしてください。→(P.18) ●「お手入れのしかた」の「加湿フィルター」をご覧ください。加湿フィルターを清掃または、交換してください。→(P.27,28)
お手入れランプ が消えない	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際にリセットボタンを押しましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●リセットボタンを押してください。→(P.26)
空気がよごれ ているのに 風量が上が らない	<ul style="list-style-type: none"> ●風量を切り替えていませんか。 ●二オイセンサー部の穴がほこりや障害物でふさがっていませんか。 ●センサー感度を低くしていませんか。 ●電源プラグをコンセントに差し込むとき、周囲の空気がきれいな状態でしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●風量ボタンを押して、センサー自動または他の風量を選んでください。→(P.19) ●お手入れしてください。→(P.31) ●センサーの感度を切り替えてください。→(P.22) ●風量の切り替えを行ってください。または、窓を開けるなどして周囲の空気がきれいな状態のときに電源プラグをコンセントに差し込んでください。→(P.22)
「加湿空清」で 運転しても 加湿量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●加湿フィルターが正しくセットされていますか。 ●加湿フィルターが汚れていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●設置場所や使用環境により、水が減らない場合があります。運転モードを「肌保湿」にして、風量を「強」または「ターボ」にしてください。→(P.18~19) ●「お手入れのしかた」の「プレフィルター」をご覧ください。プレフィルターを清掃してください。→(P.30) ●加湿フィルターを正しくセットしてください。汚れているときは、お手入れまたは交換してください。→(P.26~28)

●上記の症状以外の場合は、取扱説明書の「お困りのときは」をご覧ください。→(P.35~37)

日立 加湿 空気清浄機

カンタンご使用ガイド D

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
→(P.00)：このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

運転前の準備



注意

- 床面の傷つき防止のため、本体の下にやわらかい布などを敷いて床面を保護してください。
- ポリ袋に入れたままフィルターをセットしても、清浄効果は得られません。また故障の原因になります。
- 本体を倒したり、傾けたりしないでください。

ご注意

- 輸送中の振動などで脱臭剤の粉末(黒、白色)がフィルターより出ていることがあります。
- 袋からフィルターを取り出し、本体に取り付ける際は、手、衣類や周囲などが汚れないようにご注意ください。
 - こぼれたり、フィルターに付着した粉末は拭き取ってください。
 - 脱臭性能には問題ありません。

フィルターを本体にセットする →(P.12,13)

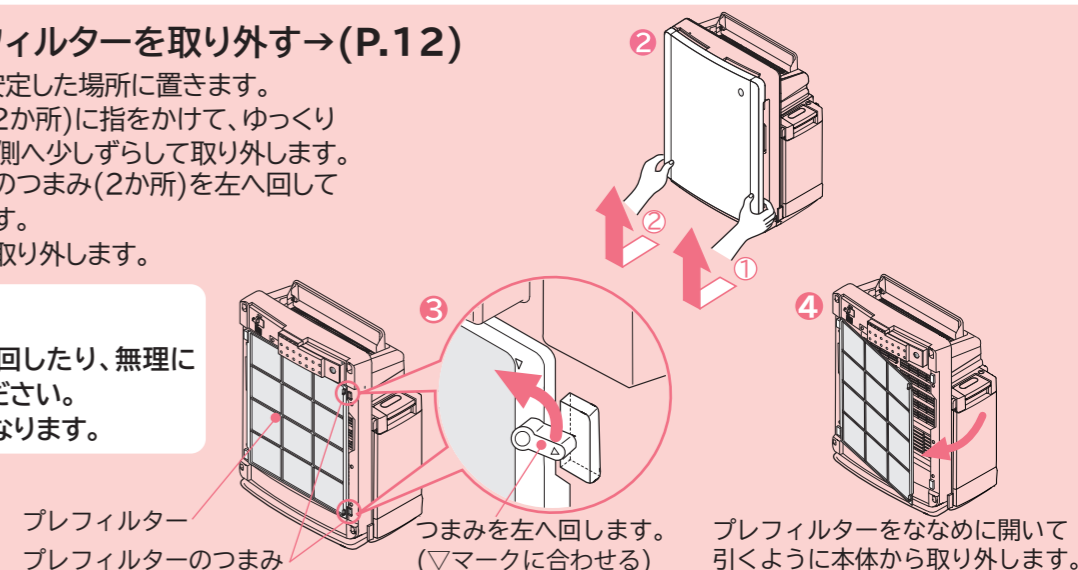
1

パネル、プレフィルターを取り外す→(P.12)

- 1 本体を水平で安定した場所に置きます。
- 2 パネルの下側(2か所)に指をかけて、ゆっくり手前に引き、上側へ少しずらして取り外します。
- 3 プレフィルターのつまみ(2か所)を左へ回してロックを外します。
- 4 プレフィルターを取り外します。

ご注意

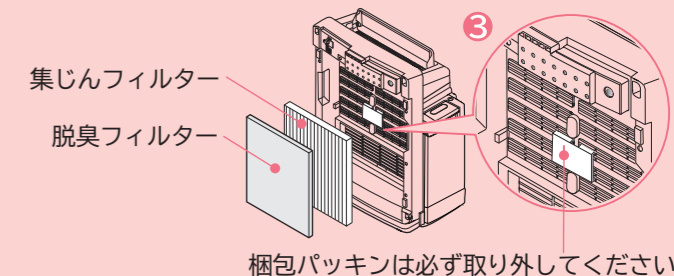
- つまみを逆に回したり、無理に回さないでください。破損の原因になります。



2

フィルターを取り外す (脱臭用と集じん用があります)

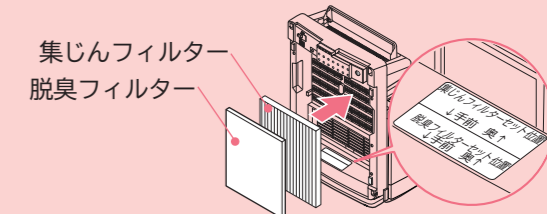
- 1 本体内からポリ袋に入っているフィルターを取り外します。
- 2 フィルターをポリ袋から取り出します。
- 3 梱包パッキンを取り外します。



3

集じんフィルター、脱臭フィルターを本体に取り付ける→(P.12,13)

- ラベル(集じんフィルターセット位置、脱臭フィルターセット位置)がかくれるように、集じんフィルター、脱臭フィルターをセットしてください。



4

プレフィルター、パネルを本体に取り付ける→(P.13)

リモコンに乾電池を入れる→(P.14)

1

ふたを外す →(P.14)

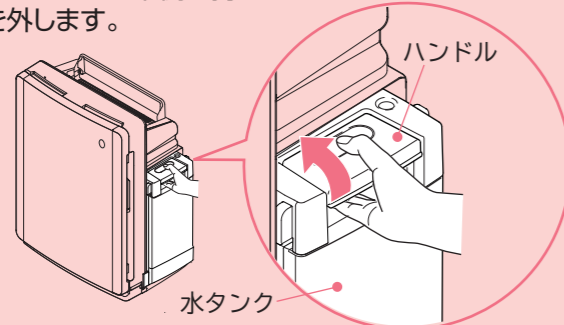
2

乾電池を入れて、ふたをしめる →(P.14)

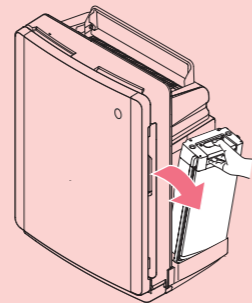
水タンクに水を入れる(「加湿」「肌保湿」モードで運転するとき)→(P.14~15)

1 水タンクを静かに取り外す

① 下図のように水タンクハンドルの上面に親指をあてながら、下側を持ち上げてロックを外します。



② 水タンクを手前に引いて、水タンクを取り外してください。

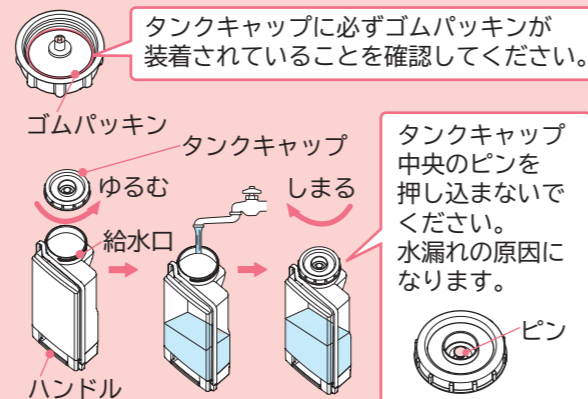


⚠ 注意

●水タンクを取り外すときは、タンクキャップに付着した水がたれる恐れがありますので、乾いた布を敷いてから水タンクを外してください。

2 タンクキャップを外して、きれいな常温の水道水を入れる

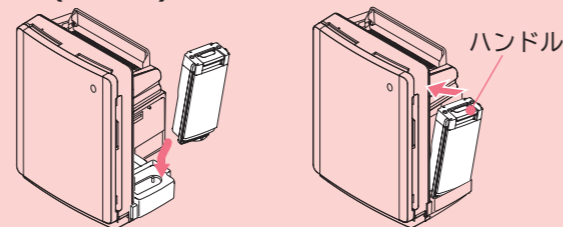
- タンクキャップ中央のピンを押したときに、パネで戻ることを確認してください。
- タンクキャップを水タンクの給水口面と平行にして確実に締めつけてください。こぼれた水をふき取り、タンクキャップを下側にして水漏れがないことを確認してください。
※タンクを持ち運ぶときは、タンクキャップを上側にしてください。
- 水タンクのハンドルに水がたまっている場合は、ふき取ってください。
- タンクキャップは消耗品です。
(ゴムパッキンの劣化などにより水が漏れる場合は、別売り部品のタンクキャップを購入のうえ、交換してください→(P.38))



3 水トレイを引き出して、加湿フィルターとトレイフタが取り付けられていることを確認して、もとに戻してください→(P.15)

4 本体の水タンク収納部に水タンクをセットする→(P.15)

- カチッと音がするまで確実に水タンクのハンドルを押し込んで、外れないことを確認してください。(水タンクが押し込みにくいときは、ハンドルを上下に動かしてください)
取り付けが不十分な場合、水タンクが転倒したり、水漏れする恐れがあります。



⚠ 注意

- 水トレイを外した状態で、水タンクを載せないでください。水タンクが転倒する恐れがあります。
- 本体から水トレイを引き出すときは、底面部で床面を傷つける恐れがあります。
- タンクキャップを閉めたまま、水タンクを本体から外して放置しないでください。
周囲温度の変化からタンク内の圧力が変化し、変形や破損により水漏れやけがの恐れがあります。


- お知らせ**
- この製品は、水タンクや水トレイに水が入っていると運転モードにかかわらず加湿機能が働きます。加湿を必要としない場合は、水タンクや水トレイに水を入れないで運転してください。
 - 水の入っていない水タンクを製品にセットするときは、ハンドルを持ち上げながらセットしてください。

運転を始める→(P.17)

1 電源プラグをコンセントに確実に差し込む→(P.17)

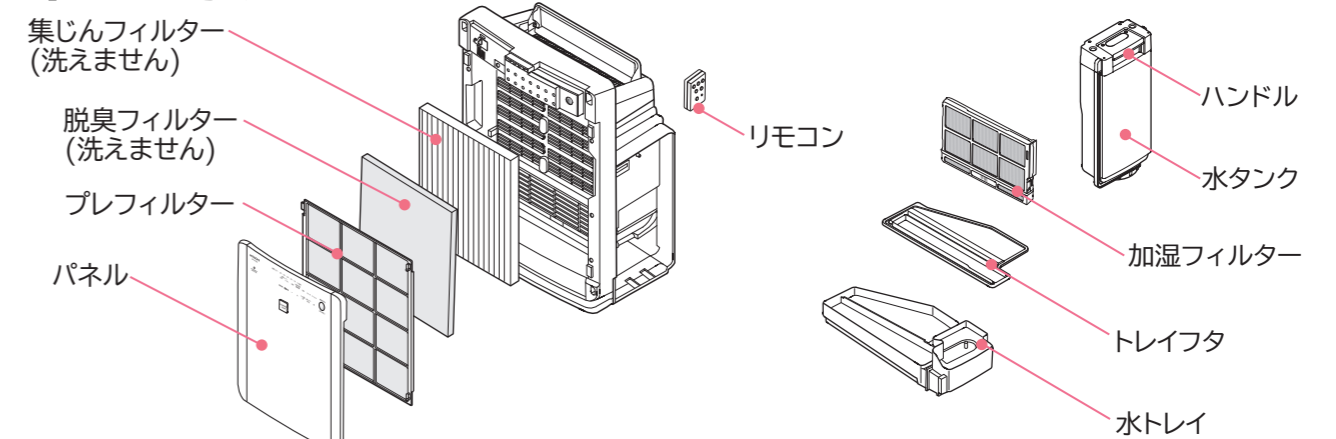


2 リモコンの ボタンを押す→(P.17)

●運転中に  ボタンを押すと、運転が停止します。

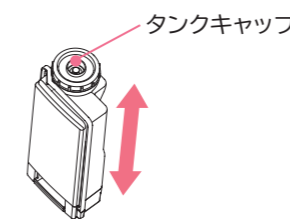
- 最初の3分間はお部屋の空気の状態を調べて記憶します。その間「クリーンレベル」と「湿度モニター 50」が点滅します。→(P.17)
- お部屋の空気が汚れていると、クリーンレベルが緑色点滅になりますが、異常ではありません。→(P.21)

基本のお手入れ



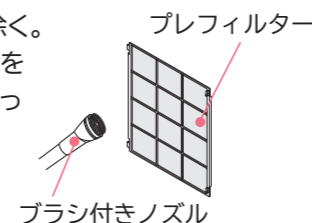
水タンク (毎日) →(P.27)

- 1日1回は必ず新しい水道水に交換してください。
- 水タンクに水が残っている場合は、排水します。
- 水道水を少量入れ、タンクキャップをしっかり閉めて、振り洗いをします。
(水を入れ換えて2~3回)



プレフィルター (約1ヶ月に1回) →(P.30)

- 掃除機などでほこりを取り除く。
・掃除機のブラシ付きノズルを軽く当ててほこりを吸い取ってください。



- 汚れがひどい場合は、強い力を加えずに市販のやわらかいスポンジで水洗いをして、十分に水を切って、日のあたらぬ風通しのよい場所で乾燥させてください。

ご注意

- 掃除機の床用ノズルなどで強くこすったり、タワシでこすると表面のステンレスコーティングがはがれてしまいます。
- 洗剤(台所用、洗濯用など)は、使用しないでください。

- 加湿フィルター、プレフィルターは消耗品です。破損したときは販売店でお買い求めください。

加湿フィルター (約1ヶ月に1回以上) →(P.27,28)

- ケースから外さないでください。
- 水、ぬるま湯または台所用中性洗剤を溶かした水に、30分以上つけおき洗いをします。
- 新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いをします。(2~3回繰り返します)
- 軽く振って水を切ります。(水がしたたり落ちない程度)



集じん・脱臭フィルター (約1ヶ月に1回) →(P.30)

- 脱臭フィルター、集じんフィルターのほこりが気になる場合は、掃除機などで取り除いてください。
・掃除機のブラシ付きノズルを軽く当ててほこりを吸い取ってください。

